

(リスクアセスメント) 伸縮装置止水工 作業手順書

会社名	中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋㈱	主な設備、仕様機械	主な使用工具、器具	安全設備、保護具	使用材料
作成日	令和6年11月13日	2tトラック、2tダンプ	発電機、攪拌機、コードリール	ヘルメット、耐切創手袋、安全靴、安全チョッキ	アサヒシール(弾性シール材、プライマー)
改訂日		連絡車	カッター、刷毛、ディスポカップ	保護メガネ、マスク、ブルーシート	バックアップ材、MSコーク
作成者	谷川			作業人員	5~7名
必要資格等	運転免許(普通、準中型、中型)、振動工具、職長教育講習				その他
備考					

作業工程	No	単位作業とその主な手順	危険有害要因(予測される災害・事故) (品質、トラブルも含む)	危険要因			危険有害要因低減対策	誰が		対策後		参考図(写真等)
				可能性	重大性	評価		点検・確認	可能性	重大性	評価	
準備工		作業前ミーティング										
	1	新規入場者のチェックをする	現場、施工方法等について十分な知識を有していない	2	2	4	新規入場者教育の受講	職長	1	2	2	
	2	健康状態を確認する	風邪、飲酒等により正常判断が出来ない	2	1	2	体調の確認、アルコールチェックを行う	職長	1	1	1	
	3	服装、保安用具の点検をする	自発光チョッキの球切れ、しらすんだーの音が鳴らない	2	1	2	全員で点検を実施する	全員	1	1	1	
	4	機械・工具等の点検をする	機械、工具が現場に稼働しない	2	1	2	作業前点検を行い、機械、工具の点検をする	全員	1	1	1	
	5	朝礼、KYミーティングを行う	漠然と現場に入り事故を起こす	2	1	2	KYミーティングにて危険箇所を確認する	全員	1	1	1	
	6	作業手順の確認をする	各自の作業が分からず、現場で不安全行動を起こす	3	2	6	個人の作業内容、作業手順を確認する	全員	1	2	2	
	7	規制協議書の確認	協議書通りの規制でない	2	2	4	規制作業内容の確認	全員	1	2	2	
	8	車両点検、荷姿チェックをする	作業車の積荷、スペアタイヤ、敷板の落下	2	2	4	指差呼称と触手による車両点検と物理的落下処置をする	全員	1	2	2	
移動		現場への移動										
	1	交通ルールを守り運転する	人身、物損事故	3	3	9	指差呼称を実施して安全確認する	運転手、助手	1	2	2	
	2	高速道路に入る前にプレート区間の確認	プレート区間外使用、不正使用	2	1	2	通用区間、プレート、車番を確認する	運転手、助手	1	1	1	
	3	規制進入時は保安員の指示で進入する	一般車の追突、規制内への誤進入	3	1	3	保安員は適切な誘導を行う	保安員	1	1	1	
	4	規制内に車両を駐車する	車両が動いて、他のものに接触する	3	2	6	ハンドル切、サイドブレーキ、輪止めを必ずする	全員	1	2	2	
	5	規制内での移動	車両同士、または作業員との接触	2	2	4	車両移動は周囲の安全を十分に確認する	運転手	1	2	2	
				2	2	4	保安員は運転手から見える場所で誘導を行う	保安員	1	2	2	
本作業		劣化シール部除去、シール材注入作業										
	1	適切な保護具の着用	保護具未装着によるケガ	1	2	2	適切な保護具の着用確認	全員	1	2	2	
	2	職長は、安全管理に心がける	作業員の不安全行動	1	1	1	職長は作業より、安全管理・仕上げ具合に留意する	職長	1	1	1	
	3	シール材の撤去	カッター等における怪我	1	3	3	切創防止手袋の着用	作業員	1	3	3	
	4	シール材の充填	シール材の飛散	1	3	3	風向、風の強さを確認し風よけをする。	全員	1	3	3	
	5	養生	シール材の飛散	1	3	3	養生時間を十分に設ける。	全員	2	3	6	
片付け		片付け										
	1	清掃	ゴミが目に入る	2	1	2	保護眼鏡等を使用する	作業員	1	1	1	
	2	片付け	作業車の荷の落下	2	2	4	車両移動前、荷姿チェック時に確認しておく	全員	1	2	2	
				2	2	4	ロープがけは必ず車線と反対側から行う	全員	1	2	2	
	3	発生材、使用道具の積込み	作業車の荷の落下	2	2	4	車両移動前、荷姿チェック時に確認しておく	全員	1	2	2	
	4	車両の離脱	一般車両との接触	2	2	4	車両距離を十分に確保して流出する	運転者	1	2	2	